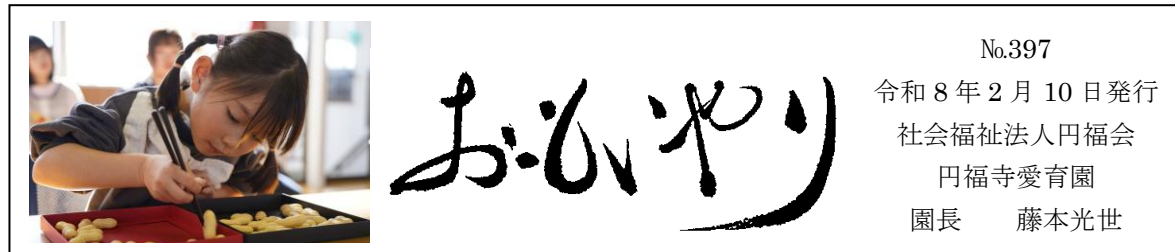


第 16 回箸技大会は、盛り上がって楽しい大会になりました。



素晴らしかった第 16 回箸技大会

園長 藤本光世

平成 23 年 1 月から始まった箸技大会は、今年で第 16 回目になりました。

練習期間は 2 週間です。昔は食堂を会場にして、あおぞらホーム（男の子）、まごころホーム（女の子）合同で練習していたのが、今は各ホームが練習場所になりました。練習の様子はどんなだろう。頑張っているとは聞いていましたが、具体的にはわからずに、当日を迎えました。

大会会場は体育館です。準備は前日の午後と当日の午前中。子どもたちと一緒に会場を作り、大会を迎えました。

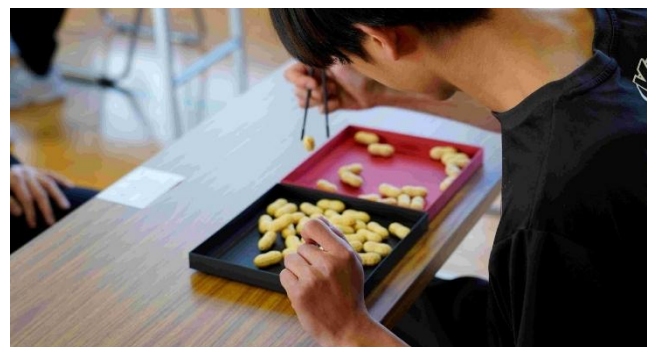


大会はどうだったと思いますか。とても良い、素晴らしい大会になりました。

個人戦は箸ピーと箸リンです。最初は箸リンの予選です。子どもたちは練習の成果を発揮しようと、とても集中します。会場はシーンと静寂に包まれます。箸リンは音がしません。見学している子どもたちは静かです。集中の雰囲気の中で、リングを運びます。1 回勝負です。

続いて箸ピー予選です。静寂の中に、ピーナッツを運ぶ音だけが響きます。すごい集中力です。

箸ピーでは、ピーナッツの形をしたピースを、勢い余って落してしまうことがあります。落せば時間がロスします。スピードと正確さが必要です。すごい集中力です。何しろ、右手で 200 個近く、左手で 100 個以上は運ぶんですから。空中に 3 つぐらいのピースが並んで移動しているように見えますときもあります。そのスピードは神業です。



(令和 8 年 2 月 10 日発行 月刊「円福」545 号付録)

こうして予選が終って、次は箸ピー団体戦です。

団体戦は二種類あって、ひとつは職員やおいでになった箸学会の皆さま、そして実習生を含めた全員を四つのチームに分けて、トーナメントで争います。もう一つは、まごころチーム（女の子）とあおぞらチーム（男の子）のそれぞれから 8 人の選抜メンバーで競います。

団体戦は、箸ピーセットが各チームに一つあれば良いのです。ピース 50 個を箱から箱へ移し、箱二つと箸を次々とリレーします。応援合戦も凄いです。とっても盛り上がります。あおぞら（男子）とまごころ（女子）は、お互いに負けまいという意識がありますので、全力の真剣勝負です。応援も凄いですよ。個人戦は静寂、団体戦は大応援です。団体戦はみんなの力が結集するので、とても楽しいのです。

団体戦のあとは、キング決定戦

です。予選でいい成績を残した 8 人が選ばれて、1 回勝負です。選ばれた子どもも、観戦する子どもも、みんな、とても集中します。団体戦とは打って変わって、静寂の中で競技です。このコントラストがすごいです。

今年の箸リンの優勝記録は 1 分間の左右合計 161 個でした。皆さん、国際箸学会から箸タイムを購入して、箸リンをやってみてください。これがいかにすごい記録か分かります。昨年までの最高記録が 148 個でしたので、一気に 13 個も記録を伸ばしました。すごいなあ。優勝した M ちゃんに聞いたら、右手で 102 個できたと言っていました。箸リンは難しいので、これが如何に素晴らしい記録かお分かりになっていただけたと思います。

箸ピーの優勝記録は 1 分間の左右合計が 331 個でした。331 個を出すには、右手で 1 分間に 200 個近く運ばなければなりません。左手でも 150 個くらい。その箸技は、ピーナッツが空中に 3 個ぐらい浮かんで移動しているように見えます。すごいですよ。331 個の記録は 16 年間で二番



目により優勝記録です。

優勝したY君は今年高校を卒業して大学に進学します。小さい時から箸技が速く、でも最近はいピーナッツを落したりして、しばらく優勝から遠ざかっていました。今年の大会にかけていたと思います。優勝できてよかったね。

大会が終わって、両ホーム長と話しました。

子どもたちは、時間内の練習だけではなくて、自主練がすごかったそうです。意欲がすごい。そして数値目標を立てて大会に臨んだそうです。大会の子どもたちの様子を見て、なるほどなあと思いました。選手は競技に集中して、それを見ている子どもたちも集中しているのです。団体戦は、お互いを応援して大盛り上がりです。いい子どもたちが育っています。

今年は、どうしたことか、ピーナッツが入った箱をひっくり返してしまう子が二人も出ました。でも二人とも腐らずに、二度目にいい記録を出してキング決定戦に選ばれました。立派でした。

箸技大会は、集中力と、努力する力と、進んで練習する力と、一発真剣勝負に力を発揮できる力と、失敗しても腐らない力などを養います。それは、子どもたちの生活に好影響を及ぼすでしょう。小宮山栄さまはとても良い競技を考えてくださいました。感謝しかありません。

一週間後には、川口市で国際箸学会主催の全国大会があります。今年もとっても楽しみになりました。子どもたちががんばれ。

第16回箸技大会

主任指導員 TM

1月31日、今年で16回目となる箸技大会が行われました。もともとは食堂の片隅でこじんまりと行われていた箸技大会でしたが、年々、規模も記録も熱量も上がっていき、今年も子供たちの真剣な戦いが繰り広げられた素晴らしい大会になりました。

箸技大会には、「箸ピー」と「箸リン」の2つの種目があって、箸ピーは一分間に落花生をいかに早く運べるか競う競技です。「箸リン」はリングを使って、挟む、掴む、割くなどの箸の技を駆使して点数を獲得する競技です。これら二つ種目で優勝すると、それぞれ「箸ピーKING」「箸リンKING」という称号を得られることになります。もちろん皆、キングを目指して頑張ります。ですがキングとなると、小さい頃から何年もこの競技に携わっている、つまり、年季の入った年長者じゃないと厳しいです。天性の才能や、手先の器用さよりも経験がものをいう所がこの箸技の面白いところです。なかなかキングを目指すことは難しいので、子ども達は予選から



図1 キング決定戦会場

(令和8年2月10日発行 月刊「円福」545号付録)

上位8名だけが出場できる「キング決定戦」に進出することを目標にします。一応参考までにお伝えすると、箸ピーでは合計200個で優勝する時代がありました。そこから230個、250個、270個が優勝のラインになって、ここ7、8年は300個に到達しないと優勝はありえないといったレベルになっており、キング決定戦に出ようと思ったら、250個くらいがベースラインになります。昔なら優勝できた記録でみんな頑張って、キング決定戦に出れた出れないで、本気で喜んだり悔しがったりしていて本当にレベルの高い大会になりました。



私は、今年「箸ピー」で優勝した高校3年生のY君の話をお伝えしたいと思います。Y君は16年間、愛育園で生活してきました。つまり3歳から箸ピーに取り組んできました。幼少の頃から、とても熱中するタイプでコツを掴むのも早い要領の良い子なので、めきめき上達していきました。そんなY君が初めて栄冠を手にしたのは小学4年生の第8回大会でした。小学生で見事な優勝達成でした。その後、小6、中

学2年生でも優勝します。3歳からの経験十分なY君の時代が続くかと思われましたが、そこから女の子たち台頭もあり、4年間優勝から遠ざかりました。Y君もいつしか「優勝は無理。そもそも目指してない。キング決定戦には出られているからいい。」と、モチベーションが下がっていました。気持ちはわかります。まごころホームには時には350個くらい行ってしまう猛者が2人いたり、昨年までいたY君のお姉さんも優勝経験を持つ強者でしたので、中々優勝は目指すにはきびしい状況でした。けれど、私は、Y君の心の弱さが気になりました。Y君は自信家に見えて内面はとても繊細で怖がりな子です。全体練習に参加はしてくるけど練習はかっこつけて適当にやっていたり、他の子を冷やかしてみたり、そうかと思えば周りに自分の成績を見せたくないから記録表への記入もしないといった姿があり、愛育園で過ごす最後の年で、最後の大会参加だと言うのになんとも情けない姿だと残念に思っていました。(Y君はこっそりとは練習をしていたようです。)

そんなY君を心配していましたら大会3日前ほど前から目の色を変えて練習をするようになり、前日にはとうとう「KING、獲りに行きます！」と高らかに宣言が飛び出しました。急にどうしたかと思いましたが、私から見て、3つ理由があると思いました。1つ目は、秘密練習を経て自信がついたのだらうと思います。これはY君のいつもの事で、やる前はネガティブな事ばかり言ってるその裏でしっかり感触を掴んだら急に強気になったりします。2つ目は、当日お姉ちゃん

が応援に駆けつけてくれると知ったからだと思います。

Y君は甘えん坊で見栄っ張りなので、お姉ちゃんの前で恥ずかしい姿は見せたくないと思ったのでしょう。そして、3つ目は、同じ高校生のF君やK君のひたむきに楽しそうに練習にする姿や、記録的にKINGは難しいのにそれでも「KINGいけるかも！」と盛り上がっている姿に触発されたのだと思います。Y君がどれだけかわいくて良い子かお分かりいただけたと思います。そして、本当に優勝をしてしまう所にまだまだ心の弱さを感じながらも大きな成長を感じました。

箸技大会を通して、箸の技術だけでなく人間的な部分の成長も見られる事や、愛育園という集団で行う場だからこそ、お互いやる気を刺激し合って大会の質が上がる事、どれも素晴らしい事だと思います。

来週は、満を持して埼玉県川口市での国際箸学会さんが主催される「第10回 箸技大会」に参加してきます。外部の方たちも沢山いらっしゃる中で、今回も表彰台独占を狙っています！子ども達が一生懸命に頑張る姿が見られたらいいなと思っています。

第16回箸技大会

まごころホーム長 I・S

第16回箸技大会が1月31日に行われました。今年も大会2週間前から各ホームごとに練習が始まりました。1年ぶりの箸技でしたが、さすが子どもたち！！初回からバンバンと豆を運ぶ姿にびっくりしてしまいました。去年の記録を少しでも伸ばしたい気持ちはみんな一緒に練習時間以外にも自主練習に励む子も多くいました。年長さんのK君とFさんは今回の大会からみんなと同じルールで参加するため、利き手じゃないほうの手にも挑戦しました。そのため最初はうまく豆がつかめず目に涙を浮かべ悔しい気持ちを我慢していたK君も毎日の練習の積み重ねで「今日は10個運べたよ！」と数が増えていくごとにニコニコの笑顔で報告してくれました。



大会本番もみんなの真剣な雰囲気に乗っかり最後まで一生懸命頑張っており、普段の生活では見られないK君の集中する姿に成長を感じました。次にHさん。去年の大会では一点差でキング決定戦に選ばれず悔しい思いをしました。来年は絶対キング決定戦で戦えるように頑張ろう、と話したことを覚えており今年の練習は力が入っていました。夜は自主練習を重ねていました。その結果確実に去年よりも力が伸びていました。これならキング決定戦に選ばれるかもしれない、と少し期待しつつも大会当日は緊張した表情をしていました。箸ピーの1回目が行われ、いつものペースで豆を運ぶことができていましたが、左手の記録を取っている際に箸が箱に当たってしまい今まで運んだ豆が床に落ちてしまうというハプニングがありました。いつものMさんならこういう失敗があると気持ち

が折れてしまうので、泣いちゃうかな？続行できるかな？と心配しましたが、悔しそうな表情を浮かべながらも気持ちを切り替えている姿にビックリしました。Hさんの「キング決定戦に行く！」という強い気持ちがあったからこそその姿だと思います。そしてなんとHさんは箸ピー、箸リン共にキング決定戦に選ばれることができとても喜んでいました。頑張ったことが結果に繋がりと自信にもなったと思います。今は7日に行われる川口市の大会に向け練習を頑張っています。最後にMさん。去年までの練習ではうまくできないと拗ねてしまう印象があり、なかなか記録も伸び悩んでいました。しかし今年とはとにかく練習を一生懸命頑張っていました。そんな前向きなMさんの姿を見てなんだかとっても嬉しくなりました。T先生と今年の選手宣誓は誰にしようか、と相談したときMさんを推薦しました。T先生から選手宣誓を頼まれるとやる気満々で本番に向け練習をしていました。Mさんは緊張しやすいのできくと本人もうまくできるか心配だったと思います。でもやっぱりできない、と諦めるのではなく最後までやり遂げたMさんはとっても立派だと思います。本番は堂々とみんなの前で宣誓してくれとってもかっこよかったです。他にも箸技大会を通して子どもたちの素晴らしい姿はたくさんありました。また前向きに一生懸命目の前のことに打ち込む姿などを見て私たち職員も見習うべきことがたくさんあるなと感じました。今は7日の大会に向け練習を頑張っています。個人戦はもちろん、団体戦はホームの力を合わせ優勝目指し頑張ります！！

が折れてしまうので、泣いちゃうかな？続行できるかな？と心配しましたが、悔しそうな表情を浮かべながらも気持ちを切り替えている姿にビックリしました。Hさんの「キング決定戦に行く！」という強い気持ちがあったからこそその姿だと思います。そしてなんとHさんは箸ピー、箸リン共にキング決定戦に選ばれることができとても喜んでいました。頑張ったことが結果に繋がりと自信にもなったと思います。今は7日に行われる川口市の大会に向け練習を頑張っています。最後にMさん。去年までの練習ではうまくできないと拗ねてしまう印象があり、なかなか記録も伸び悩んでいました。しかし今年とはとにかく練習を一生懸命頑張っていました。そんな前向きなMさんの姿を見てなんだかとっても嬉しくなりました。T先生と今年の選手宣誓は誰にしようか、と相談したときMさんを推薦しました。T先生から選手宣誓を頼まれるとやる気満々で本番に向け練習をしていました。Mさんは緊張しやすいのできくと本人もうまくできるか心配だったと思います。でもやっぱりできない、と諦めるのではなく最後までやり遂げたMさんはとっても立派だと思います。本番は堂々とみんなの前で宣誓してくれとってもかっこよかったです。他にも箸技大会を通して子どもたちの素晴らしい姿はたくさんありました。また前向きに一生懸命目の前のことに打ち込む姿などを見て私たち職員も見習うべきことがたくさんあるなと感じました。今は7日の大会に向け練習を頑張っています。個人戦はもちろん、団体戦はホームの力を合わせ優勝目指し頑張ります！！



第16回箸技大会

庶務 T・K

静寂の体育館で箸技大会が行われました。愛育園の行事の中でも緊張感に包まれる行事です。それぞれのホームでは2週間前から練習をしていたようで、ホームの廊下には一人一人の毎日の記録が大きなグラフで張り出されていました。直接練習を見る機会はありませんでしたが、子どもたちの箸技大会にかける思いの強さが伝わってくる感じがしました。

大会当日、私は記録の集計を担当しました。審判の先生が記入した用紙が回収され、一人一人の結果をパソコンに打ち込んでいきます。できるだけ早く、正確に、との思いでエクセル関数を使って集計できるようにしました。その結果出てきた予選通過者上位8人の名前を見て、正直予想してなかったあおぞらの男の子が入っていて「ん？入力ミス??」と記録用紙と入力した数字を再々確認してしまうくらい私の中では意外でした。(ごめんなさい…)

決勝戦の前に行われた、職員と子どもたちが混合で4チームに分かれて箸ピーをリレーする団体戦では、今年は景品のアイスをかけて白熱した戦いになり盛り上がりました。さっきまでの静

寂した雰囲気とは反対に、「がんばれ！」「速い速い！」「いいぞいいぞ！」と応援する声が響きます。私もイエローチームに入れてもらいました。練習もしていないので申し訳ないくらいでしたが、チームのみんなの応援の声でなんとか無事にリレーすることができました。残念ながら結果は4位でしたが、チームで盛り上がったことが良かったです。

今年の箸技大会優勝者は高校3年生のY君。



今から10年前にNHKの番組で特集された愛育園の箸ピーで、誰よりも早く箸ピーの練習に行く小学2年生のY君が映っていた姿を思い出しました。まだあどけないのですが箸ピー練習が始まると一変し、とても真剣な顔つきになるのです。ここまで幼児さんから高校生まで取り組める箸ピーってすごいなあ。みんなが真剣勝負で取り組める愛育園ってすごいなあ。箸技大会の競技だけでなく、全員での準備、片付け、慰労会での子どもたちの感想発表…愛育園って本当にいいところだなあ。

2月7日に川口市で開催される箸技大会に向けて練習は続いています。みんなが練習の成果を発揮して活躍できるように、愛育園で留守番をしながら遠くから応援しています！！

第16回箸技大会

調理主任 M.M

R8・1・31 二週間毎日一生懸命練習してきた成果を発揮する当日を迎えました。みんな普段見られないようなとても真剣な表情で「頑張るぞ！」と言わんばかりの姿が見られました。又、まごころのMさんの選手宣誓も堂々としっかりでき心打たれました。

個人戦では一人一人が、1分という時間に集中し緊張感の中でも、練習を重ねる中で自信をつけている様子が見えきました。団体戦で私も参戦させて頂きましたが、みんなの足を引っ張ったらどうしようとドキドキでしかありませんでしたが、お蔭様で優勝できホッとした瞬間でした。年齢の違う子供達が同じ場で挑戦し、応援し合う姿がとても印象的でした。最後のキング決定戦には8人が選ばれ、会場は静まりかえった中で緊張に負けることなく落ち着いて競技に挑む姿がありました。

勝ち負けだけでなく、挑戦することや集中することの大切さを自然に感じられる時間だったと思います。翌日の朝食時、私は小学生の子供のテーブルで盛り付けをしていると、6年生のA君が4年生のA君に「どうやったら上手く箸を進められるか？」聞いていました。A君は得意げな顔で何やら説明をしていました。6年生のA君は今年初めての箸技大会に参加したのでまだコツが掴めず、一週間後の埼玉での大会に挑もうとしていたのか？5年生のK君も独り言の様に「埼玉では俺はキングに入るんだ」と…とてもほほえましい光景でした。園内での大会後も、埼玉で

(令和8年2月10日発行 月刊「円福」545号付録)

の試合に向けてさらに上を目指そうとする子供達の意欲的な姿に今後の成長がたのしみです。

あおぞら児童感想

➤ 1月31日に、箸技大会がありました。個人戦では、最初に箸技をやりました。右と左の合計で115個出せました。良かったです。箸ピーは2回やりました。1回目は右で最高記録となる152をだせて嬉しかったです。合計で246くらいだせて良かったです。2回目は233くらいで少し下がったけどスコアとしては良かったです。箸技は8位でぎりぎり入ることができ、キング決定戦の出場権を得ることができましたが、箸ピーのほうは8位以内に入れなくて悔しかったです。キング決定戦は、ひとつ順位を上げて、7位という結果に終わりました。実力を発揮できて良かったです。

団体戦では、抽選でブルーチームと当たりました。ぎりぎりで勝てて良かったです。決勝ではグリーンチームと当たりました。無事勝つことができ優勝できて良かったです。あおぞらvsまごころの勝負では、久しぶりに勝つことができ嬉しかったです。

来週には川口の大会があるため、実力を発揮できるよう頑張りたいです。(AY 小6)

➤ 今年で16回目となる箸技大会。去年の自分より、確実に成長できていることがありました。それは、練習の取り組みやスピードです。まず、練習の取り組みについては、去年までは決められた時間に練習し、日々努力を積み重ねてきました。ですが自分は部活動に入っているため、夜まで練習をしており、決まった時間に箸技の練習をすることが難しくなっていました。なので、夜の寝る前に少しでも練習したりと工夫して頑張りました。次にスピードです。自分はもう高校生になったので、どうしたら早く豆を移すことができるかなど、一回一回試行錯誤しながら練習しました。その結果、一番大事なことはやはりスピードだと気づき、ふとこんなイメージが頭に浮かびました。名付けて「スピード・スター」。この意味は、流れ星のように早く、そしてきれいに。これが今年の箸技で実現出来たら勝てる気がしました。そしてなんと本番予選では、緊張はしながらも、この「スピード・スター」を目標にやりました。その結果、予選一回目では299をたたき出し、その後の2回目では、307に到達しました。本番で自己最高記録が出たことに、正直驚きを隠せませんでした。時間の使い方を工夫して練習したり、イメージ通りにできたことがこの結果につながったのかなと思います。自分が目標にしていたキング決定戦の出場権も2位で獲得することができ、自分の成長を実感することができました。キング決定戦本番では、緊張してしまい6位という結果に終わってしまいましたが、これまでの努力が報われてよかったなと思います。来週は川口市で箸技大会が行われます。それに向けて、さらに努力を積み重ねていきたいと思います。(FK 高1)

➤ 1月31日に箸技大会がありました。まず個人戦の箸技に出場しましたが、自分でも納得のいく結果が出せず、あまりいい成績を残すことができませんでした。でも、箸ピーのほうでは、1回目の挑戦で右手のスコアが100を超えることができました。すごく嬉しかったで

す。次はチーム対抗の団体戦です。最初はグリーンチームと戦いましたが、少しの差で負けてしまい、悔しかったです。その後の三位決定戦もブルーチームに負けてしまい悲しい結果に終わってしまいました。その後はホーム対抗の団体戦がありました。僕は応援にまわりましたが、あおぞらチームが無事に勝つことができたので、ホッとしました。大会後の慰労会では、びっくりすることがありました。なんと僕が敢闘賞に選ばれたのです。選ばれるなんて全く思っていなかったもので、名前を呼ばれたときは本当に驚きましたが、とても嬉しかったです。来週には埼玉で大会があります。そこで箸ピーのスコア250を超えられるように、しっかり練習して頑張りたいです。(YK 中1)

第16回箸技大会 まごころ児童感想

- 今年も第十六回箸技大会がありました。毎日一生懸命練習してきたので良い記録が出ればいいなと思いながら始まりました。まず、個人戦の箸技(箸リン)から記録をとっていきしました。でも、私は緊張しやすく結構不安だったけどいつも通りできたため、次の箸ピーは少し緊張をほぐしてやることができました。しかし、左手の記録を取っているときに箸が引っかかってしまいぶちまけてしまいました。そのためか二回目のときもまた少し緊張してしまいました。なので、次の団体戦でも全然豆がつかめなくて少し手間取ってしまいました。結果は、レッドチームに負けてしまい私のチーム(ブルーチーム)は三位になりました。その次のまごころ対あおぞらでは、けっこう早くできたけれどあおぞらが強く負けてしまいました。連勝中だったので少し悔しかったです。なので、川口の箸技大会では勝ちたいです。最後は、箸リンキングと箸ピーキング発表がありました。まず、箸リンキングからで私は最初、「絶対無理だな」と思っていたけれど、予選五位で名前が呼ばれてとてもうれしかったです。嬉しさのおかげか緊張が少しほぐれてけっこういい記録を出すことができました。その次は、箸ピーキングでこっちも「無理かな」と思っていたら、予選八位に入れて記録もけっこうよかったです。その後の表彰式が一番緊張しました。箸リンの方から発表があつて四位までに呼ばれなかったのも「もしかしたら、落ちたかも」と思っていたら三位で呼ばれてとても嬉しかったです。三位以内に入れると思っていたので本当にびっくりしました。箸ピーも予選では八位だったけど七位と一つ上がったのでとても嬉しかったです。今年は、キング決定戦に入るのが目標で、最初は「入れないかも」と思っていたけれど、箸ピーも箸リンも両方入ることができたのでよかったです。やっぱり毎日の努力が結果に繋がるんだなと改めて実感しました。なので、川口の方でもまずは予選五位以内になれることを目標にして練習を頑張っていきたいです。(中2M・H)
- 1月31日に第十六回愛育園箸技大会がありました。今回で最後の愛育園箸技大会だったのでいつもより一生懸命やりました。練習もそこまで弱音を吐くことなくできました。本番では、箸ピーと箸リンどっちとも8位に入れたので良かったし、嬉しかったです。諦めず、一生懸命練習したかいがありました。団体戦では、あおぞら対まごころの対決で、惜

しくも負けてしまい悔しかったです、一生懸命応援することができたし、諦めることなくできたので良かったです。チーム対決では、4チーム中3位でした。最後まで頑張れたので良かったです。箸技大会とっても楽しかったです。(高三 S・R)

- 1月31日に箸技大会がありました。毎日頑張つて練習をしました。でも、日に日に調子が悪くなって納得いく記録が出ない日もありました。本番では、いつもよりも箸リンの調子が良くて、箸ピーと箸リン両方ともキング決定戦に出ることができました。そして、両方4位になりました。嬉しかったです。あと1週間しっかり練習して川口の大会ではもっと記録を更新できるように頑張りたいと思います。(高三 S・U)

年末年始 スキー活動

あおぞらホーム Y,S

冬になり、子供たちからは「まだスノーボードへは行かないの?」という声がちらほら聞こえてきました。12月中はまだ雪が降らずスキー場もオープンしていないため「まだ行かないよね～」と自分としても早く雪が降ってほしいと願っていました。いつも利用させて頂いているスキー場が雪が降らずオープン予定日延期になり待ち遠しい日々が続きました。年末に近づきようやくある程度の雪が降りスキー場の一部がオープンになりました。冬休みに入り年末年始は12月30日、1月5日にグレンデに出かけました。

皆、生き生きと目を輝かせてとても楽しそうにしていました。

今シーズン初めてボードに挑戦した中一のK君、昨年小学生用にと購入していただいたボードを積極的に挑戦したいと言ってきた小学4年生のH君、A君も何度も何度も転びながらも負けずに立ち上がり練習をしていました。いつもはうまくいかないことや自分の思い通りにならないことがあると拗ねてイライラしてしまう子ですがボードの時は弱音を吐かずに頑張っていました。今シーズンはすでに年末から数えてもう6回も滑りに行かせてもらっています。今シーズン初めてボードに挑戦した3人も上達し、また、昨年から上手になっていった中高生たちは今年はジャンプやトリックに夢中になっています。引率している自分にとってみればケガだけはないようにと毎回ヒヤヒヤしながら見ているのですが、まあ、楽しく生き生きとしていればいいか、と割り切っています。

雪のある時期は限られています、そんな中で毎週のように活動させて頂けることで上達できているということに感謝して活動していきたいと思います。

お正月行事

まごころホーム T・M

まごころホームでは、お正月休みにさまざまな行事をしました。1月2日は、昼食に牛丼をテイクアウトしてみんなで食べました。そして午後はボウリングに行きました。ボウリングは長期休みごとに行かせてもらう機会が増えてきているため、みんなとても上達してきています。年長、小1の小さい子たちも補助等を使わず自分の力で投げられるようになりました。ストライクやス

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

ペアが出るたびに「できたよ！すごいでしょ！」と別のレーンにいても報告してくる子どもたちでした。良いスコアが出るととてもうれしそうでした。1月3日は、昼食にマックのテイクアウト、午後は映画、夕食に回転寿司と、とても濃い一日を過ごしました。映画は子どもたちが元々大好きだったズートピアの続編を見に行きました。各々ポップコーンやジュースを手にとっても楽しんで鑑賞しました。終わった後の車内では面白かったところをたくさん話していました。それぞれ全然別のところを話していて違いが面白かったです。回転寿司では普段なかなか食べれないお寿司をたくさん食べることができました。デザートもとても美味しくお腹いっぱいになるまで食べました。普段小食な子もいつも以上に食べており、お腹がパンパンになっていました。1月5日には善光寺に初詣に行きました。参拝した後、みんなでおみくじを引きました。私の周りは“大吉”の子が多かったです。子どもたちはどんな内容だったのか興味津々な様子でした。その後は仲見世通りで食べ歩きをしました。それぞれ好きなものを選んで買いました。甘いものを食べたり、温かいものを食べたり、色々なものを食べみんな嬉しそうでした。楽しいお正月になりました。

どんと焼き

あおぞらホーム F・K

1月12日に愛育園のある西横田地区のどんと焼きがありました。

毎年、園からも小学生が参加しているのですが、今年は小学生の中でインフルエンザが流行ってしまい小学生10人中4人が参加できなかったのですが、残りの6人は元気に参加し、午前中の飾りつけでは、だるまやしめ縄をどこに飾ろうなど自分たちで考えて動き、率先して手伝いをしている姿が見られました。そして、夕方少し日が落ちてきた頃に点火を行い、園から持ってきたお餅をみんなで焼くのですが、愛育園では数年前にY先生が手作りしてくれた竹の先に網がついている、どんと焼きでお餅を焼く用の竿があり、それを使って小学生でも自分たちで暑い火の中にお餅を入れて焼くことができ、みんな自分の焼いたお餅をおいしそうに食べていました。

毎年の行事ではあるので、今年は残念ながら参加できなかった子も、来年は小学生みんなで参加できればいいと思います。

あおぞらホームだより

あおぞらホーム A・Y

1月に入り、寒さが厳しくなっている中ではありますが、寒さも感じさせない程子どもたちは元気いっぱいに過ごしています。ここ最近あおぞらホームでは、毎週末のようにスキーやスノーボードをしにスキー場へ出掛けています。昨年度に園長先生より、スキーウェア、スキー、スノーボード用品一式を購入していただき、今シーズンも快適に滑ることができています。今年は小学生もスノーボードに挑戦する子が多く、早くも上達している様子がありました。今シーズンの終わりまで沢山楽しんで欲しいです。

インフルエンザや風邪なども流行る季節となるので、子どもたちにはたくさん遊び、たくさん食べ、健康に過ごすことができれば良いと思います。

(令和8年2月10日発行 月刊「円福」545号付録)

3学期も気が付けば終盤に差し掛かり、1年間のまとめの時期に入ってきました。高校3年生の子どもたちは自宅研修に入り、毎日自動車教習やアルバイトに忙しい日々を送っています。進学に向けて頑張っていると思います。

まごころホームだより

まごころホーム K・S

新年を迎えてから早いもので一カ月がたちました。寒さの厳しい日が続いていますが、子どもたちは体調に気を付けながら毎日元気に過ごしています。

先日愛育園では、箸技大会が行われました。この日に向けて、子どもたちは日々の生活の中で時間を見つけ、何度も練習に取り組んできました。最初は思うようにいかず悔しようにする姿も見られましたが、練習の回数を重ねるごとにコツをつかみ、「前よりたくさん運べた」「記録が伸びた」と達成感を味わう姿が増えていきました。また、練習の中でも子ども同士でコツを教え合ったり、声を掛け合うことも多く、一人ひとりが大会に向け記録を伸ばそうと意欲的にがんばっていました。

大会当日は緊張感に包まれ、始まる前からいつも通りできるか不安に感じている子が多くいました。初めに開会式を行い、そこではMちゃんが選手宣誓をしました。Mちゃんはこの日の選手宣誓を頼まれてから、毎日覚えるために一人で練習をしていました。ある日Mちゃんに「選手宣誓の練習はどう？」と聞くと「もう全部覚えたよ！」と頑張って覚えた選手宣誓を言ってみせてくれました。本番は選手宣誓を大きな声で堂々と言っており、周りからは大きな拍手が湧きました。いつもと違うMちゃんの姿がとても印象に残っており、この経験はMちゃんにとって大きな自信に繋がったと思います。競技中は、子どもたちの真剣な表情で挑戦する姿やお互いに応援し合う温かな様子が印象的でした。練習の成果を発揮できた子がほとんどで、自己ベストを出す子もあり喜んでいました。特にHちゃんは決勝に出て表彰されたことがとても嬉しかったようで、大会が終わった後に何度も話をしてくれました。またRちゃんはこの大会が終わっても次の大会に向けてもっと頑張ろうと前向きな姿勢で意気込んでいました。そんな子どもたちの姿にとっても感心させられました。

来週には埼玉で大会が予定されています。子どもたちはまだまだ大会に向けて、目標を意識しながら練習に取り組んでいます。大会に向けしっかりサポートしていきたいと思います。

調理室だより

栄養士兼調理員 K.H

【特別メニュー】

1日：おせち料理：お雑煮、海老のつや煮、紅白かまぼこ、紅白なます、ローストビーフ、筑前煮、金柑の甘露煮、黒豆、苺大福

7日：七草粥 七草粥、焼き魚、梅、ごましお 11日：鏡開き おしるこ

【誕生日メニュー】

1月は8名の児童の誕生日がありました。内容は紙面の関係で割愛します。